

[第871回ゼミ報告] 2024年1月5日号

天災は忘れた頃にやってくる、とは寺田寅彦が言ったとか。否! 阪神大震災や東日本大震災が記憶に強く残るところに、年明けの能登半島地震!!

12月27日のゼミは、レーニン『帝国主義論』2「銀行とその新しい役割」を高田の報告で行いました。銀行の発展は集積され、銀行間の協定で仲介者から独占者に転化した。一握りの独占者が全資本主義社会の商工業を自己に従属させる。ドイツではトラストよりカルテルが支配し、資本の集積・独占体形成を進める。自由競争による資本主義から独占の支配による過渡的な新しい資本主義が到来する。銀行は顧客の経済状態を把握し、産業資本は銀行に完全に従属する。銀行と産業との人的結合の進み、それに政府との人的結合が補足する。巨大資本主義的独占体は数百人の金融王を生み出した。銀行資本と産業資本の癒着によりさらに緊密化が進み、古い資本主義の寿命が尽き、新しい資本主義へ、「組織された」資本主義への進み、資本一般の支配から金融資本の支配への転換点となる。日本での銀行合併図も示した。

討論では、銀行の支配はイギリスなどでみられるが、アメリカではむしろバラン・スウィージーの『独占資本』に見られるように、GMやフォードなどの企業での独占化により銀行に従属しないという傾向がみられる。日本でもトヨタ銀行などと称されるように同様なこともある。アメリカでは預金による商業銀行より投資銀行のほうが進んでいる。そこでは貸出先が問題となってくる。現在は銀行のグローバル化が問題となり、インターネットの普及でどれだけ利ザヤを得ることができるか問題だ。日本での銀行の合併は、むしろ銀行が高度成長の鈍化と共に力を失ってきたと言える。特に政府系の政策的な金融機関が問題となってきた。日本での財閥は戦後解体したが、戦前は大きな影響力を持ち、中小財閥でも軍部と共に朝鮮などで時流にのり儲けていた。財閥は後進国でも見られ、ロシアのオルガルヒもその一つだ。会場参加は川口さん・山口さん・高田、オンライン参加は小野さん・斎藤さん・竹内さん・後藤さんの7名でした。

* 1月10日(第2週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 854 0665 2881 パスコード: 917820

* 訂正: 1月10日ゼミは、柄谷行人『力と交換様式』第3部3章「資本主義の終わり」および、第4部1章「社会主義の科学1」を竹内さんの報告で行います(※前号での予告「第3部3章」のみは間違いでした)。

***** ゼミ日程 *****

1月10日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
柄谷行人『力と交換様式』第3部3章、第4部1章 報告竹内さん

1月24日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
レーニン『帝国主義論』3.金融資本と金融寡頭制 報告高田

2月14日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
柄谷行人『力と交換様式』第4部2章 社会主義の科学2 報告者未定
その後 2024/2/28, 3/13, 3/27 [アイクルの部屋]